today's Topix

日付: 2025年2月7日(金)

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	介護施設、自分らしく 生活 時間割なく について	日経 33 認知症 ・ 介護	 介護施設も多角化が進む。千葉県八千代市にあるデイサービス施設は、子どもも集まる施設となっている。 介護保険のデイサービスを受け入れるこの施設には認知症の人など高齢者20人弱が通う。一般的な介護施設と異なるのは子どもの存在。開放感のある庭は小学生が集う放課後の遊び場で、職員の子連れ出勤も推奨する。食事や入浴の時間割はなく、スタッフや近所の子どもに囲まれ利用者は思い思いの時を過ごす。 このような外の世界と連続した介護の現場にその人らしい生活が息づく。介護を受けるだけの閉鎖された施設とは一線を画す新たな施設として、今注目を浴びている 	 介護(特に認知症)の話題として活用 認知症保険のニード喚起と保障の訴求(若年層にも) 介護の保障もあわせて訴求
2	高校無償化、所得制限な し 25年度から について	日経 4 創客・ ライフ	 自民党は、高校授業料の無償化を巡る日本維新の会との協議状況を説明した。 2025年度から、現在は国の支援対象から外している年収目安910万円以上の世帯にも公立、私立問わずに年11万8800円を上限に給付する案を示した。 現行は、年収590万円未満の世帯で、公立の場合は年11.88万円、全日制の私立は39.6万円まで支給。年収590-910万円未満は公・私立問わず年11.88万円を支給している。 	■ お客さま情報の再収集(世帯情報や趣味・趣向等)■ 創客やアプローチ、提案、再提案の機会の創出
3	円、3日で3円高 対ドルー時151円台 について	日経 11 投資・ 積み立て	 外国為替市場で対ドルでの円高進行のスピードが増してきた。6日の東京市場で対ドルの円相場は一時1ドル151円台に上昇。3日間の円上昇幅は3円強に達する。 日銀は1月の金融政策決定会合で政策金利である短期金利の誘導目標を0.25%程度から0.5%程度に上げた。さらなる利上げ継続姿勢が示され、日米金利差が縮まるとの思惑から外為市場で円買い・ドル売りが進んだ。 	■ 投資や積み立ての話題■ 積み立てのポートフォリオの確認(とくに米国ドル建て)から、リバランスへのアドバイス
4	東京都内の倒産、 1月16%増152件 について	日経 33 法人・ 個人事業主	 1月の東京都の企業倒産数は前年同月比16%増の152件だった(東京リサーチ)。1月として150件を超えたのは11年ぶりで、物価高や人手不足で業況が回復しない企業が目立つ。 産業別の倒産で最多はサービス業他の60件(同18%増)。10産業のうち増加は卸売業や金融・保険業など6産業で、減少は農・林・漁・鉱業や建設業などの3産業だった。 同社は「賃上げ疲れが倒産を押し上げており、物価高解消のメドは立っていない。東京都の倒産は増勢が続く可能性が高い」とした。 	■ 中小法人やオーナーの話題として活用■ 保険を活用した「経営」のお手伝いを訴求■ 法人契約の確認や訴求まで

市況情報※

日経平均/前日比 39,066.53/ 235.05 定期預金金利(1,000万以上/10年) 0.400% TOPIX 2,752.2/ 6.79 国債(5年)/前日差 0.935%/ ▲0.005 ダウ平均 国債(10年) 44,700.85/ 172.43 1.275%/ ▲0.005 上海総合指数 3,270.66/ 米国債(10年) 4.423%/ ▲0.088 41.17 中国国債(10年) ドル円 152.57-59 76銭高 1.594%/ ▲0.024

今日は何の日

- **・フナの日**⇒
- ふるさとの日

茨城県古河市のフナ甘露煮店組合が2001年(平成13年)に制定。 日付は「フ(2)ナ(7)」と読む語呂合わせから。同組合は、2000年(平成12 年)に11月27日を「いいフナの日」に制定したが、翌年から2月7日に変更された。 古河市を流れる渡良瀬川ではフナが取れ、甘露煮が名物の一つとなっている

誕生日うらない

長所・知的好奇心が旺盛

•頭脳明晰

そっけないという印象 短所・頑固で考えを曲げない 誕生花: タンポポ

花言葉:愛の神託・神託 ・真心の愛・別離

誕生日 カラー

・感情に溺れず常に冷静

•狡猾

本日の深掘りウォッチ:チョコレートの効用!~バレンタインデーをきっかけに活用!~

チョコレートは、「カラダ」に良い!

チョコレートやココアは、これまでの長い歴史の中で、嗜好品としてだけでなく、栄養の面か らも様々な効能を持つ食品として愛されてきました。近年、カカオに含まれる成分の研究が進 み、健康に役立つことがわかってきています。カカオポリフェノールの抗酸化作用による**心臓** 病のリスク低減や同薬効果の抑制作用、肥満(脂肪蓄積を抑える効果)、生活習慣病の予 防、脳機能の改善などが研究成果として報告されています

チョコレートやココアの効能

心臓病のリスク低減

動脈硬化の抑制

コレステロール値を下げる

胃がんや胃潰瘍を予防

0-157やピロリ菌を殺菌

ガンの発生や進行を抑制

アレルギー疾患や炎症を抑制

外傷の治癒する細胞の促進

効果的な摂取量

カカオ ①

以上を1日②

認知症

の予防

にも効果あり!?

チョコレートの摂取前後で

が最適!

被験者のBDNFが有意に上昇

p = 0.005*

BDNFの測定結果

スイスは、消費量6倍 で死亡者数は1/4!

がんの発生とチョコレート の関係についての関連 データ。

チョコレートをたくさん食 べる国では胃がん死亡 者が少ない。

一人当たりの年間消費 量が最も多いスイスと 日本を比較では、スイ スのチョコレートの消費 量は日本の約6倍、胃 がんによる死亡者数は 約4分の1となっています ■ チョコレートの消費量 スイス

胃がんによる死亡とチョコレートの消費量

出典:第3回チョコレート・ココア国際シンポッ・ウム(1997年)

チョコレートが認知症の要望に効果的!?

チョコレートの摂取により、アルツハイマー型認知症や記憶・学習などの 認知機能と関連性が報告されているBDNFが増えることがわかりました!

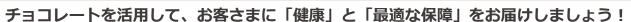
BDNFとは

脳の活動や記憶を司る神経活動 を下支えする非常に重要な物質

これまで、**運動したり、難しいことを考えたりするとBDNFが増える**のではな いかといわれてきました。しかし、今回の実証研究では、チョコレートに含ま れるカカオの成分であるポリフェノールにBDNFを増やす可能性があることが 初めて分かりました。これは、最終的には認知症を予防できる可能性があるこ とを示すもので、とても大きな期待が持てます。

バレンタインデーの由来

バレンタインデーの由来は、3世紀のローマの話です。当時、兵士た ちの結婚は禁止されていて、それに疑問を持ったバレンタイン司祭が、 皇帝に反対して兵士達を結婚させたようです。皇帝の怒りを買った バレンタイン司祭は、2月14日に処刑されて殺されてしまいました。 悲しんだローマ人は、この日を聖バレンタインデーとしました。後に、 「愛の日」として愛の告白をする日と変わっていったようです。ヨーロッ パでは、この日に花やケーキやカードなどを送る習慣があるようで、女 性が男性にチョコレートを贈るのは、日本独自のようです



参考)上記他:日本チョコレート・ココア協会(http://www.chocolate-cocoa.com/)